

久留米大学

御井図書館ニュース

No. 50 2002年9月1日発行

ローカル文化の発掘・見直し、そして認識を！

経済学部長 鶴田善彦

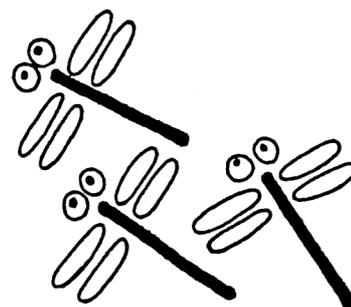
「文化経済学会」がわが国で設立されたのが、1992年3月だから今年で10年になる。また昨年12月には、国レベルで「文化芸術振興基本法」が施行されている。そして今年1月、民間出身で心理学者の河合隼雄氏が文化庁長官に就任し、さらに6月の文化審議会で、遠山文部科学大臣は「文化芸術の振興に関する基本的な方針」について諮問を行っている。このように国内で文化芸術への関心が、高まっていることがわかる。

私は文化経済学会のメンバーではないが、学会設立の目的は文化と一般社会とのつながりを、広く学際的に深めることにあろうと推察される。わが国では長い間、ひたすら経済成長に向けて文化無視とも言える、効率性の向上を追い求めてきたことへの疑問と反省の一端と理解できる。また基本法の制定は、文化芸術を一部の専門家や研究者にまかせるのではなく、国民の一人ひとりが個々の立場で文化芸術を理解し、毎日の生活に精神的ゆとりと人間味に幅を持たせることを目的としていると考えられる。

一般に文化芸術と言うと、芸術性が高い音楽、美術、あるいは演劇などを挙げることが多いが、実はそのほかにも全国の各地域に密着した「土着文化」とでも呼ぶことが出来るローカル特有の文化芸術も存在するのである。わが国の前世紀末からの閉塞した状況からの脱却は、このローカル文化の掘りおこしが少なからず貢献するのではないかと指摘されている。

実は本学経済学部にも、本年度から全国に先がけて開設した「文化経済学科」の設置背景には、このローカル文化の発掘・見直し、そして認識を深めることに軸足を置いている面もある。すなわち地域振興の手法として、地域に密着しているため、つい見落とされてしまいそうなローカル文化を認識を通して、地域に備わったポテンシャルを発掘し、地域振興を考えていこうと提案しているのである。

21世紀初頭になって、すでに述べたように国内で文化芸術への関心が高まってきている。しかも庶民文化として一人歩きを目ざした、ローカル文化が発言力を得ようとしている。そうした気運に新設の「文化経済学科」が多少とも貢献できればと願っている。学内外の皆様のご理解とご支援を賜りたい。



「図書館の魅力」

商学部3年 井上久美

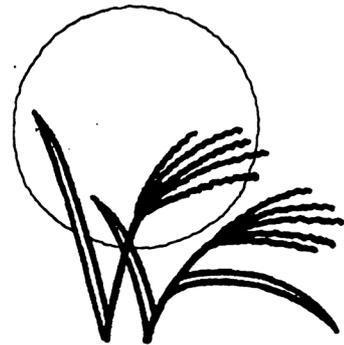
前期試験の時期に図書館に行くと、普段より利用者が多いと感じる。『御井図書館ニュース』に掲載されている「図書館利用状況」を見ると、7月の入館者数が最も多い。試験勉強に図書館を利用する学生が多いことの証左である。

一般に、大学図書館を利用するのは、いくつかのメリットがあるからであろう。まず第1に、自習機の多さが挙げられる。私がこれまで訪れたことがある図書館の中では、自習機が最も多く設置している。2つめは、コンピュータ（OPAC）で蔵書の検索が容易に行えることだ。私の出身高校には検索用のコンピュータはなく、自分で探し出せない図書については、図書館員に尋ねなければならなかったため、時間を要した。OPACによって、利用者には探している本が即座に検索できるというメリットがある。第3に、図書館の快適さが挙げられる。久留米大学御井図書館は、二階が吹き抜けになっており、開放的に見える。図書館は、一般に「暗い」というイメージを持たれがちだが、御井図書館には、そのようなイメージは少しもない。さらに、空調も快適である。とりわけ、夏場はこのメリットが大きく、前期試験期間に学生の足を図書館に向かわせる大きな要因になっているといえる。

とはいえ、試験期間中だけではなく、普段から図書館に慣れ親しんでほしい。

大学の入学式で、学修ガイドブック等と一緒に『知の玉手箱』という冊子が配付される。『知の玉手箱』では、学長を始め、大学の先生方、学生から推奨される本が紹介されている。これに目を通すことで、それまで未知・無関心であった図書へと誘われるのは必至である。好奇心にかきたてられた人は、実際に図書館を訪れることで、地下書庫があること、三階の閲覧室にパソコンが設置されていること、AVライブラリーが利用できること等、新たな「発見」をすることによって、御井図書館に魅せられるかもしれない。

ほとんどの学生は、卒業後、おそらく、図書館を利用する機会に恵まれないであろう。とにかく、図書館に足を運んで、図書館の魅力に気づいてもらいたい。在学中に、図書館の魅力を十分に味わってもらいたい。



🎬 AV ライブラリーより名画紹介 🎥



『巴里祭』 [原題] QUATORZE JUILLET

*1932年 フランス映画

監督：ルネ・クレール

脚本：ルネ・クレール

出演：アナベラ

ジョルジュ・リゴワほか

ビデオ〈VHS〉字幕スーパー

発売元：CIC・ビクター ビデオ株式会社

可憐な花売娘アンナ（アナベラ）とタクシー運転手（ジョルジュ・リゴワ）の若き恋人達の哀歓を、パリの下町情緒とユーモアを巧みに交え描いた名作。

お昼休みや講義の合間を利用して、映画を観てみませんか。

御井図書館では、AV ライブラリーの資料として、ビデオ、レーザー・ディスク、C.D.、カセットテープ等を所蔵しています。

講義に関連のある資料も所蔵していますので、どうぞご利用下さい。

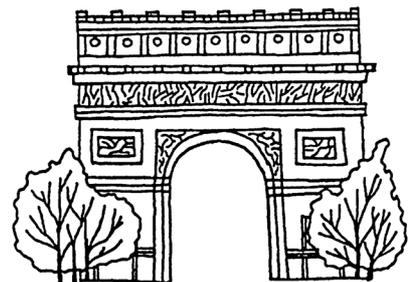
*利用方法

- ・所定の申込用紙に、必要事項を記入し、学生証を添えて、カウンターに提出して下さい。
- ・利用は、1回につき1資料で、原則として2時間以内とします。

*利用上の注意

- ・館内資料以外は、利用しないで下さい。
- ・館外貸出をしていませんので、館内でのみご利用下さい。

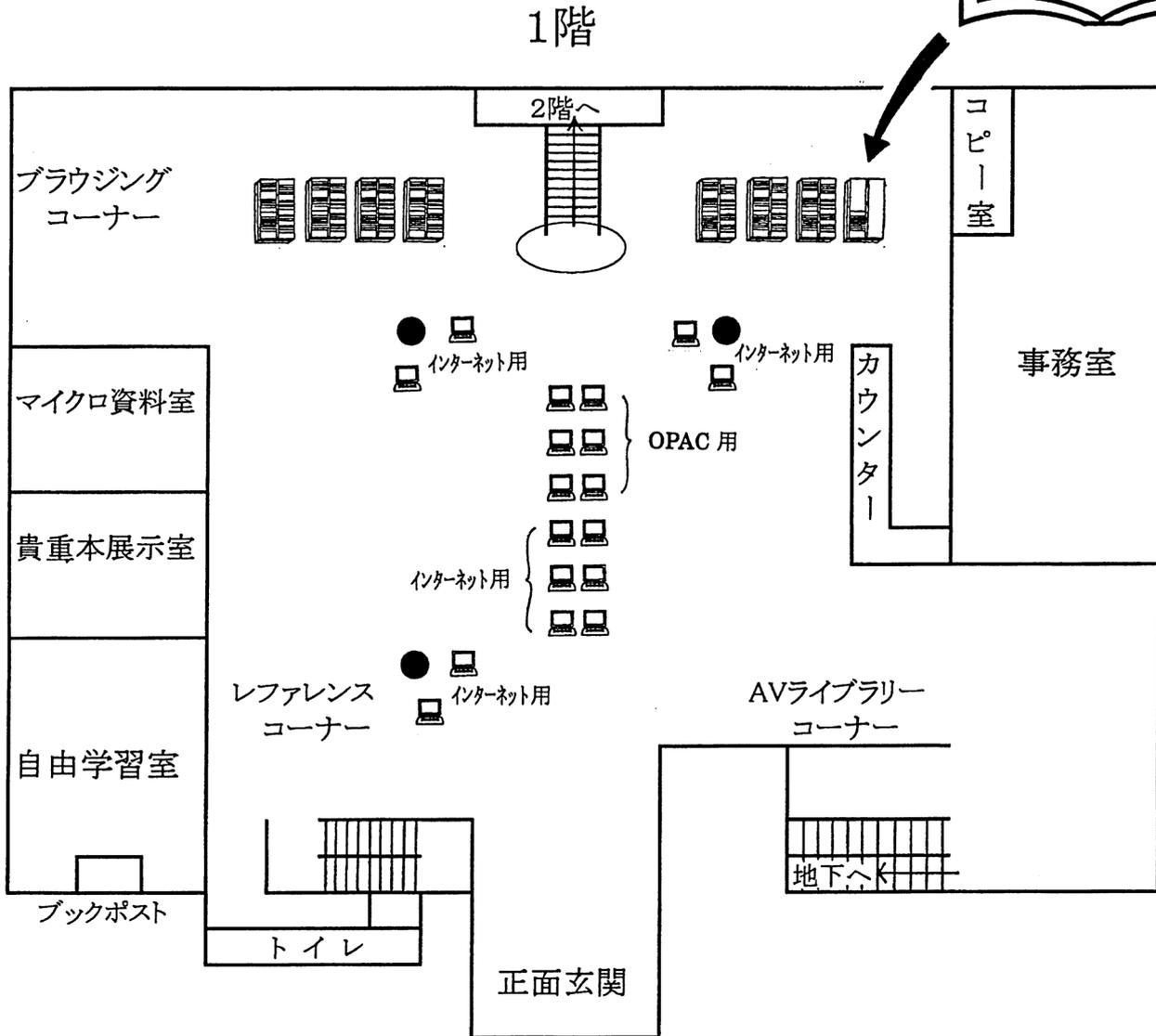
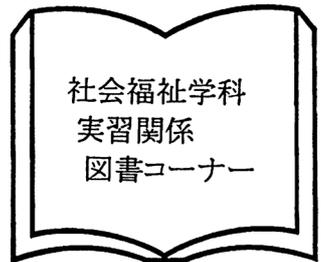
図版、紹介文：CIC・ビクター ビデオ株式会社 ビデオ「巴里祭」より複写、引用。



お知らせ

新図書館システムの移行に伴い、1階閲覧室の端末の配置が変更になりました。

- ・OPAC専用端末：6台
- ・インターネット用端末：12台



この他にも、2階閲覧室に2台、地下1階書庫に1台、地下2階書庫に1台のOPAC専用端末を設置しています。どうぞご利用下さい。

***社会福祉学科実習関係図書を1階コピー室前に配架しました。**

寄 贈 図 書 (学内関係者)

2002/05/01～2002/08/31受入分

寄贈者名	著 者	タ イ ト ル	出 版 社
池 畑 裕 樹	沖縄県博物館協会	沖縄の博物館ガイド	編集工房東洋企画
大久保 雅 行	大久保雅行	日蓮誕生論：聖なる物語の構造分析	山喜房佛書林
狩 野 啓 子	渡辺 澄子	女性文学を学ぶ人のために	世界思想社
小 竹 一 彰	小竹 一彰	中国共産党重要人物名簿：最新データファイル	長城書店
島 村 賢 一	嶋崎 啓ほか	自然との共生の夢：エコロジーとドイツ文学	鳥影社・ロゴス企画部
図 子 善 信	図子 善信	税法概論 2 訂版	大蔵財務協会税のしるべ総局
張 国 興	朱 維瑜	世界年鑑 1995	中央通訳社
張 国 興	朱 維瑜	世界年鑑 1996	中央通訳社
張 国 興	台湾研究所	台湾総覧 第22号(1993年版)	台湾研究所
張 国 興	台湾研究所	台湾総覧 第23号(1994年版)	台湾研究所
仁 木 恒 夫	森 毅	おしゃべりな置きもの	青土社
仁 木 恒 夫	河合 雅雄	学問の冒険	佼成出版社
仁 木 恒 夫	中野秀一郎	社会学とは何か：社会学原論講義ノート	近代文芸社
仁 木 恒 夫	仁木 恒夫	少額訴訟の対話過程	信山社出版
仁 木 恒 夫	井上ひさし、樋口 陽一	「日本国憲法」を読み直す	講談社
仁 木 恒 夫	梅原 猛	「脳死」と臓器移植	朝日新聞社
松 尾 匡	岡 由紀子ほか	タウンモビリティ導入の必要性に関する調査報告書	シニア情報プラザ・久留米
妙 木 浩 之	妙木 浩之	エディプス・コンプレックス論争：性をめぐる精神分析史	講談社

※敬称略50音順

お 知 ら せ

夏季休暇が終わり、開館時間は下記のとおりになります。

月曜日～金曜日 午前9時～午後8時

土曜日・日曜日
長期休暇期間 午前9時～午後5時

休館日 祝祭日、創立記念日、8月15日
年末年始(12/29～1/3)

図書館利用状況（2002年度）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
開館日数		28	27	30	31	29	145
入館者数	前年同期比	2,820	399	-813	641	1,995	5,042
	学内者	20,589	25,694	24,545	41,756	12,448	125,032
	前年同期比	31	0	66	7	-16	88
	その他学外者	150	146	178	126	82	682
地域住民登録者数	前年同期比	20	9	34	-7	0	56
		51	29	47	13	14	154
貸出冊数 (学生)	前年同期比	75	-215	-380	-686	142	-1,064
	全体	1,203	2,228	2,059	4,476	1,219	11,185
	前年同期比	-77	-109	-141	-44	1	-370
	内、夜間	139	377	404	915	35	1,870
	前年同期比	-15	-47	-9	-131	15	-187
	内、土・日曜	50	110	157	320	136	773
貸出冊数 (教職員)	前年同期比	29	230	181	61	83	584
	全体	330	413	397	338	263	1,741
	前年同期比	-59	6	16	1	8	-28
	内、夜間	45	63	82	68	11	269
	前年同期比	0	8	20	-13	33	48
	内、土・日曜	5	14	25	21	46	111
貸出冊数 (その他学外者)	前年同期比	25	28	11	3	62	129
	全体	76	120	95	19	139	449
	前年同期比	11	13	-8	0	-5	11
	内、夜間	21	49	16	8	0	94
	前年同期比	9	-11	16	3	12	29
	内、土・日曜	14	27	52	3	41	137
AVライブラリー 利用件数	前年同期比	-4	8	10	-5	6	15
	学生	3	19	18	3	8	51
	前年同期比	-1	-15	-1	4	1	-12
	教職員	3	13	6	7	1	30
	前年同期比	0	0	0	0	0	0
	その他学外者	0	0	0	0	0	0
相互利用 (文献複写) 申込件数	前年同期比	27	-37	12	-3	-42	-43
	学生	38	46	40	52	26	202
	前年同期比	22	-3	46	31	57	153
	教職員	59	31	55	52	121	318
	前年同期比	-1	3	0	0	0	2
	その他学外者	0	4	0	0	0	4
相互利用 (現物貸借) 申込件数	前年同期比	2	-5	2	-1	1	-1
	学生	5	5	4	5	7	26
	前年同期比	-2	-1	12	16	-11	14
	教職員	5	11	18	19	4	57
	前年同期比	0	0	0	0	2	2
	その他学外者	0	0	0	0	2	2

〈貸出冊数についての注記〉

1. 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
2. “夜間”とは、17:00～20:00の夜間開館時間を指す。
*なお、4月1日～4月11日、8月5日～9月19日の期間は夜間開館を行っていない。
3. 地域住民への貸出は、7月8日～8月2日の期間は停止している。

編集・発行 久留米大学御井図書館
〒839-8502 久留米市御井町1635
TEL (0942) 44-4015
FAX (0942) 43-0348
<http://lib.mii.kurume-u.ac.jp/>